



## 慢性子宮内膜炎について

### ● 慢性子宮内膜炎 (CE; chronic endometritis) とは

- 慢性子宮内膜炎 (CE) は子宮内膜間質に**形質細胞**という成熟したBリンパ球が浸潤した状態です。何らかの炎症反応と考えられます。
- CEは臨床症状が乏しいため、これまであまり省みられることがありませんでした。近年、**原因不明の不妊症や不育症**との関連が報告され注目されています。
- 原因は不明ですが、病原体の感染や子宮内膜症の関与が推測されています。子宮内膜症では約50%にCEが認められたという報告もあります。

### ● CEの診断・検査

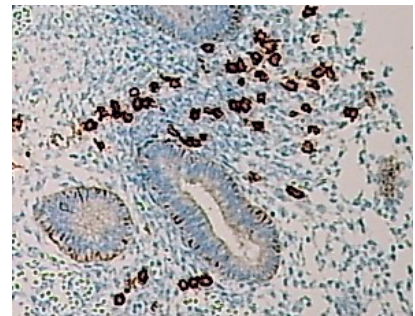
- 月経終了～排卵までの期間に検査を行います。診断には子宮ファイバスコピー検査、子宮内膜組織検査、病原体検査が必要です。

#### ● 子宮ファイバスコピー検査

- 子宮内膜にマイクロポリープ、間質の浮腫や肥厚、充血などが認められます。

#### ● 子宮内膜組織検査

- 少量の子宮内膜組織を吸引採取して組織学的検査を行います。
- 形質細胞の特異的なマーカーであるCD138の免疫染色を行い、形質細胞の子宮内膜間質への浸潤が確認されるとCEと診断されます。



#### ● 病原体検査

- 子宮内膜組織を用いて、細菌培養 (好気性菌、嫌気性菌) と病原体の遺伝子検査 (クラミジア、淋菌、マイコプラズマ、ウレアプラズマ) を行います。

### ● CEの治療

- 病原体検査の結果に基づいて抗生物質を投与します。
  - グラム陰性菌 (腸球菌、大腸菌など) : **シプロフロキサシン**®400mg (分2, 7~14日)
  - グラム陽性菌 (連鎖球菌など) : **オーグメンチン**250RS® 3錠 (分3, 7~14日)
  - クラミジア、マイコプラズマ、ウレアプラズマ : **ジスロマック**®1000mg, 分1, 1日
  - 淋菌 : **ロセフィン**®1g点滴静注
  - 難治症例 : **ミノマイシン**®200mg, 分2, 7~14日
  - 病原体陰性 : **ロセフィン**®1g点滴静注 + **ビブラマイシン**®100mg (分1, 10日) + **フラジール**®500mg (分2, 10日)
- 治療後に子宮内膜組織検査を行い、CEの有無を確認します。治療が奏功すると妊娠率が向上すると報告されています。